



さま
イエス様とボク

あらし なか
どんな嵐の中でも

いなづまがピカッと^{ひか}光り、かみなりがとどろいてこわく^きなっても、気にしなくていいよ！ だれでも、こわいときはあるものだ。だけど、こわくなったときには、わたしがすぐそばにいることを^{おも}^だ思い出してごらん。わたしはいつも、^{きみ}君のそばにいるからね。

^{きみ}君を^お落ち着かせ、^{あんしん}安心させて、おそれをぬぐい去^さってあげるよ。わたしをよべば、聞こえるからね。こわかったら、わたしに^{はな}話しかけてごらん。^{きみ}君を^{あんしん}安心させてあげよう。手をのばして、^{きみ}君がわたしの^て手をつかみ、わたしにしがみついているところを^{そうぞう}想像してごらん。どんな^{あらし}嵐^{なか}の中でも、わたしはすぐそばにいるからね。

